

第6章 計画の推進体制

1 計画の推進体制

(1) 生活排水対策推進管理のための体制づくり

① 県の役割

県は本計画の総合的事業推進を行うとともに、市町村との情報交換を密にし、実施状況の把握・各事業実施時の調整など、計画の進行管理を行います。また広域的な視点から、それぞれの地域の実情を考慮した施策を実施します。

県庁内においては、水環境保全関連部署との連携をとり、施設整備・啓発について効率的な施策を実施します。

また、生活排水対策に関連した国や県外の自治体等の動きや仕組みについて、積極的に情報収集を行うとともに、これらの情報を市町村や県民に提供します。

② 市町村の役割

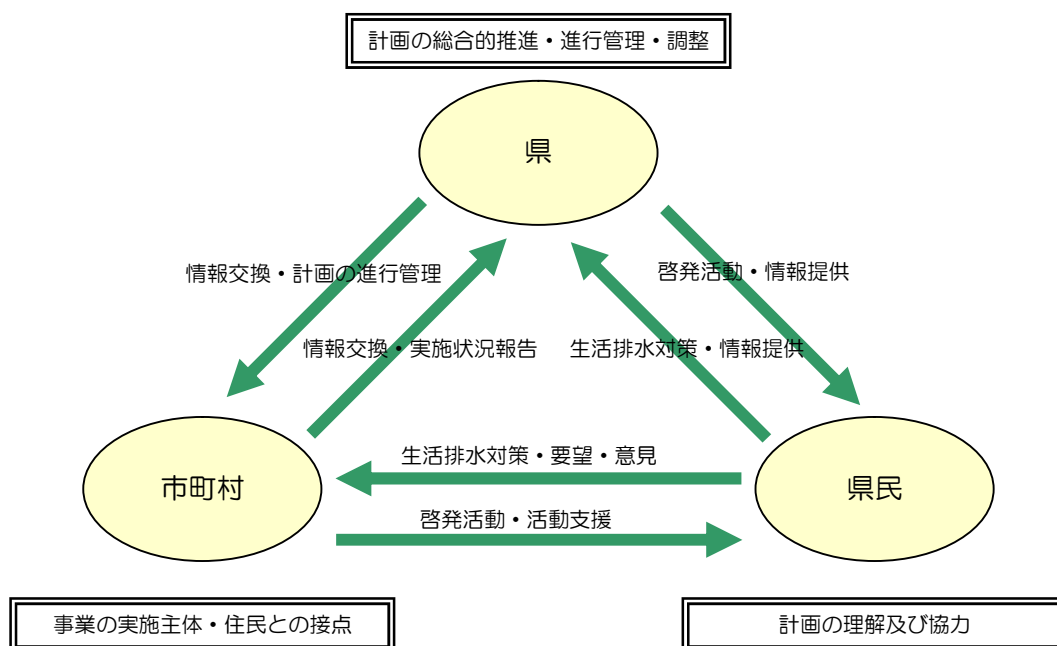
市町村は本計画に基づき、施設整備を推進します。実施体制の確立、財源の確保、住民への周知や情報提供などを確実に行います。

啓発活動に関しては、県に比べ住民との距離が近い特性を活かし、地域や学校、職場などグループ単位での積極的な啓発や活動支援を行います。更に住民の意識や動向を正確に把握し、より効果的な啓発・支援を行えるよう努力します。

③ 県民の役割

県民は、県や市町村から情報発信される本計画の内容及び趣旨を十分理解し、個人の意識の向上に努めます。更に、個人から家庭へ、家庭から地域・職場または学校へと、意識向上の輪を広げるようにします。意識の向上とともに、家庭での生活排水対策の実践や様々な環境保全活動への参加等へとステップアップを目指します。

また、行政が行う施設整備に伴う集合処理施設へのつなぎ込み等の協力や、浄化槽の適正な使用や維持管理を行います。



(2) 計画の進行管理

本計画をより実効性のあるものとするために、「スケジュールの確認」「効果の確認」を随時実施するとともに、施策に対する点検・評価・見直しを含めた PDCA サイクルにより継続的に事業を進めていきます。

スケジュールの確認

- 施設整備進行状況の把握
- 施設の運営管理状況の把握
- 啓発活動の浸透状況の把握

効果の確認

- 生活排水処理率や水質の測定による数値的評価
- 水生生物調査や野生動植物調査による間接的評価
- 住民意識の把握
- 実践活動モデル地域の設定及び評価

政策評価に基づく進行管理

- 事業の点検・評価の実施
- 点検・評価の結果を受けた事業の見直し

2 県民への情報提供

本計画を推進するため、県民の水環境に関する意識向上や生活排水対策の具体的手法など、有益な情報を的確な手段で伝えることに努めることとします。

また、計画の進捗状況を評価する指標（ベンチマーク）として生活排水処理率を設定し、ホームページなどを活用して定期的に公表します。

情報提供に関する基本的考え方

- 県民が望んでいる情報の的確な把握
- 『宮崎県環境情報センター』や『宮崎県ホームページ』等、県民の利便性を考えた情報提供
- 県民からの意見、提言を施策に活かす仕組みの検討